

Genome-wide association study identifies 112 new loci for body mass index in the Japanese population

秋山, 雅人

<https://hdl.handle.net/2324/1931996>

出版情報 : Kyushu University, 2017, 博士 (医学) , 論文博士

バージョン :

権利関係 : Public access to the fulltext file is restricted for unavoidable reason (2)



(別紙様式 2)

氏 名	秋山 雅人			
論 文 名	Genome-wide association study identifies 112 new loci for body mass index in the Japanese population			
論文調査委員	主 査	九州大学	教授	北園 孝成
	副 査	九州大学	教授	林 哲也
	副 査	九州大学	教授	二宮 利治

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

肥満に関連する感受性座位を同定するため、約 17 万人の日本人を対象にゲノムワイド関連解析を実施した。さらに、公開されている欧米人の約 32 万人由来の結果と統合解析を行い、計 112 の体重量調節に関わる新規感受性座位を同定した。同定された感受性座位の組織特異性をエピゲノムマーカーを用いて検証した結果、過去に知られていた中枢神経系組織に加えて、B リンパ球、脂肪、膵臓における遺伝子発現調節が、肥満に関与する可能性が示唆された。さらに、本研究で実施したゲノムワイド関連解析の結果と、過去に理化学研究所で実施された 33 の疾患のゲノムワイド関連解析の結果を用いて遺伝学的相関を評価し、9 つの疾患が体重調節と遺伝的背景を共有していることを示した。

以上の成績はこの方面の研究に知見を加えた意義あるものと考えられる。本論文についての試験はまず論文の研究目的、方法、実験成績などについて説明を求め、各調査委員より専門的な観点から論文内容及びこれに関連した事項について種々質問を行ったがいずれについても適切な回答を得た。

なお本論文は共著者 2 名であるが、予備調査の結果、本人が主導的役割を果たしていることを確認した。

よって調査委員合議の結果、試験は合格と判定した。